

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地歴公民科 科目 地理総合

教科： 地歴公民科 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1組～8組：松永将一 ）

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校 地理総合～世界を学び、地域をつくる～ ）

教科 地歴公民科 の目標：

【知識及び技能】 地理学において主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したり【思考力、判断力、表現力等】する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において【学びに向かう力、人間性等】主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にしらべまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。 ・様々な図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。 ・地理学習の基本的な技能、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。 ・インターネットを使ってさまざまなWeb地図にアクセスし、日常的に使われている新しい地図表現の役割を理解する。	第1編 1章 地図や地理情報システムと現代世界 2節 球面上の世界と地図 ①地球上の位置 ②世界の時差 ③世界地図の見方・使い方 ④地図から読み取る情報 ⑤デジタル化された地図 ⑥地理情報システムの活用 【教材】 教科書、資料集、地図帳 自作プリント	・授業態度 ・ワークシート作業態度 ・提出課題の取り組み ・プリント提出 ・定期考査 ・リフレクションシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化してきたかを時系列で理解する。 ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。 ・グローバル化の中で、人・「もの」・資本の国際間移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。 ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのようにに地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。 ・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわっていることを、実体験とともに考える。 ・貿易の拡大に伴い専用船の開発・普及が進み、コールドチェーンの整備により人々の生活が豊かになっていることを、具体的な実体験を通して理解する。	2節 国家の結びつきとグローバル化する社会 ①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき 【教材】 教科書、資料集、地図帳 自作プリント 【その他】 課題「2つの国を比較する」 レポート資料の作成 個人端末利用	・授業態度 ・ワークシート作業態度 ・提出課題の取り組み ・プリント提出 ・定期考査 ・リフレクションシート	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・図書館の本やインターネットから、世界の生活・文化を示した写真を探し、写真の中にある地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。 ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 ・世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。	第2編 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解 ①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候 【教材】 教科書、資料集、地図帳 自作プリント 【その他】 課題「2つの国を比較する」 レポート調査の発表 個人端末利用	・授業態度 ・ワークシート作業態度 ・提出課題の取り組み ・プリント提出 ・定期考査 ・リフレクションシート	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。 ・世界の特色ある生活文化にはどのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。	③「衣」「食」「住」から見る世界 ④暮らしを豊かにする産業 ⑤宗教と人々の暮らし ⑥暮らしを豊かにするための文化	・授業態度 ・ワークシート作業態度 ・提出課題の取り組み ・プリント提出 ・定期考査				

	はものがあるが関心を付け、地図画材の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。 ・祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身につける。 ・多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくためには、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。	⑦多様性に富んだ世界の人々との共生 【教材】 教科書、資料集、地図帳 自作プリント 【その他】 課題「2つの国を比較する」 レポート調査の発表 個人端末利用				18
	定期考査			○	○	1
3 学 期	・持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。 ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。 ・地球的課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解する。 ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。 ・人口問題について、先進国の少子・高齢化、発展途上国の人口爆発という対照的な問題が起こっていることを理解する。 ・食料問題について、食料分配の不等さが飢餓と飽食の地域差を生み出していることを理解する。	第2編 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力 1節 持続可能な社会を目指して ①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題 【教材】 教科書、資料集、地図帳 自作プリント 【地域の歴史、伝承文化の紹介】 レポート作成提出	・授業態度 ・ワークシート作業態度 ・提出課題の取り組み ・プリント提出 ・定期考査 ・リフレクションシート			16
	定期考査			○	○	1
合計						70